

令和7年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会

第3回幹事会

日時：令和8年3月4日（水）13:00～15:00

場所：Web 会議システム

次 第

1. 開 会

2. 議 事

（1）協議事項

- 1) 日高山脈襟裳十勝国立公園協議会規約（別添1、2）の変更について
- 2) 日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレード（案）について

（2）提案議題

- 1) 広尾町フンベの滝近傍の大規模太陽光発電所について【十勝自然保護協会】

（3）報告事項

- 1) 自然体験活動計画（素案）について【北海道地方環境事務所】
- 2) 日高北部森林管理署管内の入林者名簿記載者数について【日高北部森林管理署】
- 3) 十勝西部森林管理署管内の山岳及びアクセス道の状況について【十勝西部森林管理署】
- 4) オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の受入環境整備の促進事業について【北海道運輸局観光部】

3. その他

4. 閉 会

【配付資料】

構成員・出席者名簿

資料1 日高山脈襟裳十勝国立公園協議会規約 改訂案 (R8.3 構成員追加)

資料2 日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレード周知媒体 (案)

資料3 広尾町フンベの滝近傍の大規模太陽光発電所【非公開】

報告資料1-1 自然体験活動計画について

報告資料1-2 日高山脈襟裳十勝国立公園自然体験活動計画 (たたき台)【非公開】

報告資料2 日高北部森林管理署管内の入林者名簿記載者数

報告資料3 十勝西部森林管理署管内の山岳及びアクセス道の状況

報告資料4 オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の受入環境整備の促進事業

参考資料1 日高山脈襟裳十勝国立公園協議会の今後の進め方について (令和8年3月4日版)

参考資料2 再生エネルギーとの調和 (太陽光) について

参考資料3 令和7年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会第2回幹事会議事概要

その他 日高山脈マップ (十勝総合振興局・日高振興局)

令和7年度第3回日高山脈襟裳十勝国立公園協議会幹事会
出席者名簿

分野	所属名	役職名	構成員名(敬称略)
国	日高北部森林管理署	署長	野木 宏祐
	日高南部森林管理署	総括事務管理官	大水 貴博
	十勝西部森林管理署	総括事務管理官	水谷 豊
	北海道開発局	開発連携推進課 開発専門官	在田 尚宏 (代理出席)
	北海道運輸局	室蘭運輸支局 首席運輸企画専門官	小林 俊介
	北海道地方環境事務所	国立公園課長	尼子 直輝
北海道	環境生活部 自然環境局 自然環境課	自然公園担当課長	島村 哲也
	日高振興局	環境生活課長	栗林 稔
	十勝総合振興局	保健環境部環境生活課長	内田 朋宏
市町村	帯広市	環境課 自然公園係長	関井 かおる (代理出席)
	日高町	地域経済課長	小野寺 孝
	平取町	観光商工課長	藤谷 直樹
	新冠町	企画課長	佐渡 健能
	浦河町	商工観光課長	民部 宏治
	様似町	商工観光課長	板谷 潤
	新ひだか町	まちづくり推進課長	森 勝利
	清水町	農林課長	寺岡 治彦
	芽室町	環境土木課長	橋本 直樹
	中札内村	産業課主事補	工藤 翔太 (代理出席)
登山関係団体	十勝山岳連盟	会長	齊藤 邦明
自然保護団体	十勝自然保護協会	事務局長	川内 和博
観光関係団体	十勝観光連盟	専務理事	植松 秀訓
アドバイザー	(公社)北海道アイ対協会	副理事長	小川 哲也
アドバイザー	(公社)北海道アイ対協会	理事	木村 英彦

【随行者】

分野	所属名	役職名	構成員名 (敬称略)
国	日高北部森林管理署	総括事務管理官	長崎 隆憲
		事務管理官	伊藤 智哉
	日高南部森林管理署	主任事務管理官	日野 道俊
		事務管理官	阿部 達矢
	十勝西部森林管理署	事務管理官	米田 和敏
	北海道開発局	室蘭開発建設部 地域連携課長	菅野 圭一
		室蘭開発建設部 地域連携課長補佐	阿部 匡史
		室蘭開発建設部 技術管理課長	長谷川 武春
		帯広開発建設部 技術管理課長	飯田 孝
	北海道運輸局	観光開発観光企画課 観光企画係長	経田 直哉
	北海道	日高振興局	環境生活課 自然環境係長
自然環境係 主事			佐々木 尽
環境生活部 自然環境局 自然環境課		公園利用係長	今 哲也
		公園保全係長	藤田 竜太
技師		菅原 史也	
十勝総合振興局	環境生活課 主事	道下 翔	
市町村	帯広市	観光交流課 主任補	尾籠 辰哉
	日高町	地域経済課 総括主幹	高橋 健
	平取町	会計年度任用職員	山木 正生
	様似町	商工観光課 アポイ岳保全係長	佐々木 将貢
	芽室町	環境土木課 生活環境係長	速水 洋之
自然保護団体	十勝自然保護協会	理事	植田 幹夫

【事務局】

北海道地方環境事務所	国立公園課課長補佐	田畑 桂
	国立公園課課長補佐	相原 百合
帯広自然保護官事務所	上席自然保護官	柳田 邦玲雄
	自然保護官補佐	谷水 亨
新ひだか自然保護官事務所	自然保護官	草留 大岳
	自然保護官補佐	城 辰幸
アジア航測株式会社		入江 潔
		中山 里美
		高田 雄介

日高山脈襟裳十勝国立公園協議会規約

(名称)

第 1 条 本会は、日高山脈襟裳十勝国立公園協議会と称する。

(目的)

第 2 条 本会は、日高山脈襟裳十勝国立公園の保全と利用の目標を示した国立公園ビジョンを策定するとともに、その実現を目指して、構成員が連携した取組を推進することにより、本公園の優れた自然環境の保全と適正な利用を推進することを目的として設置する。

(協議事項)

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事項を協議する

- (1) 日高山脈襟裳十勝国立公園ビジョンに関する事項
- (2) 日高山脈襟裳十勝国立公園ビジョンの実現に向けた管理運営方針及び行動計画に関する事項
- (3) 前号の行動計画に基づく取組の実施に関する事項
- (4) その他、前条の目的の達成のために必要な事項

(構成)

第 4 条 本会は、別添 1 に掲げる機関、団体等により構成する。

(会長)

第 5 条 会長は、北海道地方環境事務所長が務める。

(総会)

第 6 条 総会は、年 1 回開催するほか、会長の招集により必要に応じて開催する。

- 2 総会の議長は、会長が務める。
- 3 総会は、第 3 条の事項について協議する。

(幹事会)

第 7 条 本会に、幹事会を設置する。

- 2 幹事会は、必要に応じて事務局が招集する。
- 3 幹事会の構成員は、別添 2 による。
- 4 幹事会は、総会の議事に関する予備的協議、その他連絡調整を行う。
- 5 幹事会は、必要に応じ別添 3 のアドバイザーを招聘し意見を聴くことができる。

(部会)

第8条 本会に、部会を設けることができる。

- 2 部会の設置及び運営に必要な事項は、総会において決定する。
- 3 部会は、必要に応じ別添3のアドバイザーを招聘し意見を聴くことができる。

(事務局)

第9条 本会の事務局を、北海道地方環境事務所国立公園課に置く。

- 2 事務局は、会の庶務を行う。

附則

この規約は、令和6年8月27日から施行する。

この規約は、令和7年8月5日から施行する（構成員の一部変更）。

この規約は、令和8年 月 日から施行する（構成員の追加）。

機関・団体等	構成員
学識経験者	中村 太士（北海道大学名誉教授）
	愛甲 哲也（北海道大学教授）
国	日高北部森林管理署長
	日高南部森林管理署長
	十勝西部森林管理署長
	北海道開発局開発監理部開発連携推進課長
	北海道運輸局観光部長
	北海道地方環境事務所長
北海道	環境生活部長
	日高振興局長
	十勝総合振興局長
市町村	帯広市長
	日高町長
	平取町長
	新冠町長
	浦河町長
	様似町長
	えりも町長
	新ひだか町長
	清水町長
	芽室町長
	中札内村長
	大樹町長
	広尾町長
	登山関係団体
日高山岳連盟会長	
自然保護団体	アポイ岳ファンクラブ会長
	十勝自然保護協会 共同代表
観光関係団体	十勝観光連盟会長
	日高管内観光連盟会長
アイヌ団体	公益社団法人北海道アイヌ協会 理事長

機関・団体等	幹事会構成員
有識者	中村 太士（北海道大学名誉教授）
	愛甲 哲也（北海道大学教授）
国	日高北部森林管理署次長
	日高南部森林管理署総括事務管理官
	十勝西部森林管理署総括森林整備官
	北海道開発局開発監理部開発連携推進課長
	帯広運輸支局 首席運輸企画専門官(企画輸送・監査担当)
	室蘭運輸支局 首席運輸企画専門官（総務企画担当）
	北海道地方環境事務所国立公園課長
北海道	環境生活部自然環境局自然環境課自然公園担当課長
	日高振興局環境生活課長
	十勝総合振興局環境生活課長
市町村	帯広市都市環境部環境室環境課長
	日高町日高総合支所地域経済課長
	平取町観光商工課長
	新冠町企画課長
	浦河町商工観光課長
	様似町商工観光課長
	えりも町産業振興課長
	新ひだか町総務部まちづくり推進課長
	清水町農林課長
	芽室町環境土木課長
	中札内村産業課長
	大樹町住民課長
	広尾町水産商工観光課長
登山関係団体	十勝山岳連盟会長
	日高山岳連盟会長
自然保護団体	アポイ岳ファンクラブ会長
	十勝自然保護協会事務局長
観光関係団体	十勝観光連盟事務局長
	日高管内観光連盟事務局長
アイヌ団体	小川 哲也（公益社団法人北海道アイヌ協会副理事長）
	木村 英彦（公益社団法人北海道アイヌ協会理事）

(アドバイザー)

学識経験者

アイヌ文化関係団体

登山関係団体又は山岳ガイド事業者

遭難対策関係団体

自然保護関係団体

観光関係団体又は観光事業者

交通事業者

経済関係団体

金融関係団体

その他、協議会が認める者

日高山脈襟裳十勝国立公園 登山道利用体験グレード ～2025年度版～

はじめに

日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレードは、日高山脈を登山しようとする方が、登山利用をするに当たって自主的な行動判断をするための目安として、日高山脈襟裳十勝国立公園協議会が作成したものです。

近隣の大雪山グレードを参考にしつつも、日高山脈の特性に応じたものとして、**6段階のグレード（グレードA～F）**として新たに整理し直しています。本グレードは登山道の現況をふまえ、体力レベルと技術レベルを考慮して設定しました。

最新の情報を収集し、また本グレードも参考とし、無理のない登山計画を立てていただき、魅力ある自然を後世に守り伝えていける登山を心掛けましょう。

グレーディングの設定表

タイプ	登山道					
	グレードA	グレードB	グレードC	グレードD	グレードE	グレードF
概況	明瞭		一部不明瞭	沢、徒渉ルート、やぶこぎ、岩稜帯、細稜線		
体力レベル	短 → 長					
標高差	小 → 大					
技術レベル	低 → 高 → 極高					
迷いやすさ	低			高 → 極高		
難しい地形	少			多 → 極多		
含むコース	アポイ岳 ペケレベツ岳 剣山 伏美岳 (登山口から) 猿籠山道 襟裳山道 ピンネシリ ★参考 旭岳・十勝岳	十勝幌尻岳 豊似岳 芽室岳 久山岳 アポイ岳～ピンネシリ ★参考 トムラウシ (短縮道登山口)	北戸高別岳 (チロロ林道コース) 美古岳 神威岳 ベテガリ岳 (ベテガリ山荘から) 豊似岳 (観音岳経由)	幌尻岳 (千呂露川二岐沢・額平川・新冠コース) コイカクシュツナイ岳 ピバロ岳 (トムラウシ林道から) チロロ岳	カムイエクウチカウシ山 1839峰 幌尻岳 (伏美岳コース) イドンナップ岳	
求められる装備	雨具、行動食、防寒着、携帯トイレ、コンパス、紙地図、GPS、ツェルト、クマ対策道具（クマ鈴・ホイッスル・クマスプレー等）					
	沢靴や泊の装備（非常食含む）					

まず留意いただきたいこと

- 登山に関する教育を受けたり自己学習を深めたりすることにより、十分な知識を持つとともに、十分な登山の経験を有している方を前提としています。そうでない方は、登山計画を変更することや、プロの山岳ガイドや熟練した経験者に同行を依頼することも検討してください。
- 標識はありません。GPSはもとより、コンパス・紙地図を用意し、それを使いこなし、適切に判断できる地図読みの能力があることを前提にしています。
- エスケープルート・避難小屋は限られます。ツェルトや非常食等を用意し、緊急時の装備を使いこなせること、悪天候や体調不良等の危険を正しく評価し、登山中止を判断できることを前提としています。
- 1,900m前後の山が多いですが、緯度が高い（北に位置する）ため、気象や気候は本州の3,000m級の山々に匹敵します。あらかじめ気象や気候を確認し、適切な服装及び装備（手袋、帽子、防寒着等）を用意していることを前提としています。
- 無雪期・天気良好を想定し作成しています。残雪については情報収集し、必要に応じて対策をしてください。
- 登山ルートの通行や山頂への到達、通行上の安全を保証するものではありません。登山する際は、十分な装備のもと、自己責任において入山してください。
- 入山の際は、事前に北海道警察に登山計画書を提出するとともに、登山口に入林簿が設置されている場合は記入をしてください。

ルートの留意事項

資料2

【共通事項】

- 多くのルートでササ、ハイマツ等のやぶこぎがあり、登山道が不明瞭となっている箇所があり、道に迷いやすい。
- **（やぶ）** やぶこぎマーク
植物が密集した場所をやぶこぎで通過する。通過に時間がかかり、登山道が不明瞭で道を迷いやすい。
 - **（沢）** 沢登り・沢歩きマーク
沢歩き、沢登りがあり、沢靴などが必要となる。降雨時、雨後には、増水のため通行困難となる場合がある。
 - **（徒）** 徒渉マーク
川・沢を横切る場所があり、降雨時、雨後には、増水のため通行困難となる場合がある。
 - **（急）** 急斜面マーク、**（岩）** 岩稜マーク
滑落の危険性があるため、注意して通行すること。

【ルート別】

- **十勝幌尻岳（沢、徒）**
・ルートの取り付きがわかりにくい場所があるため注意。
- **チロロ岳（やぶ、沢、徒）**
・山開き後も残雪が残っていることが多いため、情報収集に留意。
- **幌尻岳（伏美岳コース※伏美岳・ピバロ岳含む）（やぶ、急、岩）**
・伏美岳避難小屋へ繋がる林道は工事中であり、歩行者を含め通行止めになる場合あり。
- **幌尻岳（額平川コース）（やぶ、徒、急）**
・北海道電力の取水施設から幌尻山荘まで多数の徒渉あり、沢靴が必要。水量が多いため増水に注意。
- **幌尻岳（千呂露川二岐沢コース※北戸高別岳含む）（徒、急）**
・登山口から北戸高別岳の区間のうち、登山口からヌカピラ岳にかけては、沢筋を歩くため足元に注意。
また、季節、悪天候等による増水にも注意。
・幌尻岳（千呂露川二岐沢コース）の日帰り登山は、登りだけで9時間以上を要し、暗い中での沢筋歩きを伴うなど、大変危険。
- **イドンナップ岳（やぶ、徒、沢）**
・登山口手前にある専用林道等には決壊箇所があるため、徒歩による通行注意。
- **神威岳（やぶ、徒）**
・複数回の徒渉があり沢靴が必要。道道 348 号野深沢伏停車場線は路肩の崩壊のため、当面の間、徒歩を含め通行止めの情報あり。通行の際は、最新情報を確認すること。
- **ベテガリ岳（やぶ）**
・本グレードは、ベテガリ山荘からベテガリ山頂までの区間を想定した評価。
・ベテガリ山荘に至る経路について、道道111号静内中札内線は、現時点で徒歩も含めて通行止め。
・神威山荘方面からのルートについて、道道 348 号野深沢伏停車場線は路肩の崩壊のため、当面の間、徒歩を含め通行止めの情報あり。通行の際は、最新情報を確認すること。
- **ペケレベツ岳（やぶ）**
・登山口周辺が不明瞭であるため注意。
- **芽室岳（急）**
・分岐からパンケヌーシ岳にかけて未整備の箇所あり。
- **久山岳（やぶ）**
・登山口から道が錯綜。山頂へ至る道も数で不明瞭。
- **剣山（急）**
・ロープ等はあるが過信しないこと。
- **カムイエクウチカウシ山（やぶ、沢、徒、急、岩）**
・登山ルートに続く道道は、歩行者を含め通行止めになる場合あり。
・徒渉箇所が複数あるため、増水に注意すること。ルートが不明瞭な箇所がある。ゴルジュを回避するルートを通行した方がよい。
- **1839峰（やぶ、沢、急、岩）**
・ルートが長く、日高山脈の中でも特に険しい。

コラム：ヒグマへの対応について

○日高山脈襟裳十勝国立公園は、ヒグマが高密度で生息している場所です。
○やぶこぎや沢歩きが多くヒグマとの遭遇リスクが高い上に、エスケープルートや避難小屋も限定されます。
○日高山脈では、過去にカムイエクウチカウシ山で3名の登山者が亡くなる事故も起きています。
○ヒグマとの事故を回避するためには、正しい知識と対処方法を身につけて行動することが、最も効果的な手段です。

●事前の準備

- ・市町村や警察のホームページ等で最新のヒグマの出没状況を確認し、危険があれば計画を変更しましょう。
- ・食料は密閉した袋やフードコンテナに入れ、クマ鈴やホイッスルを装備しましょう。また、クマ撃退スプレーは適切な性能を有するものを準備し、事前に使い方を確認しておきましょう。
- ・クマ撃退スプレーは、いざという時にすぐ使うことができる場所に携帯しましょう。
- ・複数人で行動し、また離れないようにすることも、事故を防ぐために効果的です。

●ヒグマと遭遇しないために

1. 人の存在を知らせる
 - ・声やクマ鈴・ホイッスルで人の存在を知らせる
 - ・特に沢沿い・やぶ・視界の悪い場所に注意する
 - ・薄暗い時間帯の行動を避ける
2. 周囲に気をつける
 - ・周辺の音や気配に常に注意する
 - ・新しいヒグマの痕跡（足跡、糞など）を見つけたら、より警戒し、場合によっては引き返す
3. ヒグマを誘引しない
 - ・食料の匂いを漏らさないよう工夫する
 - ・匂いの強い食事は特に危険
 - ・ゴミは必ず持ち帰る

挿絵や写真

●ヒグマと遭遇したときには

1. 冷静に対応！
 - ・慌てて走るのは危険（ヒグマが興奮して追いかけてくる場合がある）
 - ・ヒグマを興奮させないよう静かに話しかけ、様子を見ながら距離を保って静かに立ち去る
2. 万が一に備える！
 - ・ヒグマが接近してきたらクマ撃退スプレーを構える（有効距離は約5m）
 - ・万が一襲われた場合は防衛姿勢をとる

詳しくは



クマ類に遭遇した際にとるべき行動（クマ類の出没対応マニュアル-改定版-（環境省）抜粋）

挿絵や写真

日高山脈襟裳十勝国立公園 登山道グレーディングマップ

※本グレーディングマップは、登山利用をするにあたっての判断の目安として作成したもので、登山地図としての利用はできません。

■主なアクセス道

- 一般道
- - 一般道(車両通行止め・徒歩通行可)
- ⊗ 一般道(全面通行止め)
- 🚌 シャトルバス区間
- 専用林道等(一般車両通行可)
- 専用林道等(一般車両通行可・期間等の制限あり)
- - 専用林道等(徒歩のみ通行可)
- ⊗ 専用林道等(全面通行止め)

■凡例

- ★ 徒渉
- ☆ 沢登り
- ★ やぶこぎ
- ★ 岩稜帯
- ★ ヤセ稜線
- 国立公園境界
- 🏠 山小屋

専用林道等は、森林の整備等のための業務用道路であり、「見通しが悪い」、「道幅が狭い」、「ガードレールがない」など一般道とは異なります。
また、落石、土砂、倒木等によって通行が妨げられることや事故につながる危険性もあります。事故防止のため、十分に減速するなど防衛運転を徹底し、自己責任で通行してください。

■利用体験グレード

- グレードF
- グレードE
- グレードD
- グレードC
- グレードB
- グレードA
- 探勝歩道

注1) 本グレーディングマップの利用体験グレードは、日高山脈独自の基準をもとに設定したもので、ほかの国立公園の登山道グレードと単純な比較はできません。
注2) 本グレーディングマップは無雪期を想定して作成しています。季節によってやぶの有無などの難易度に変化が生じるルートがあります。
注3) 破線表示のルートは国立公園区域外であることを示しています。
注4) 注意箇所は大きな位置を示したもので、必ずしも実態と同じではありません。また、沢登りや徒渉には高度な技術を要する場合があります。
注5) ペテガリ岳登山口に通じる一般道および林道は徒歩を含めて通行止めとなっています。



資料3

- 十勝毎日新聞 2026年1月19日付け 1面記事
- 十勝毎日新聞 2026年1月21日付け 1面記事
- 十勝毎日新聞 2026年2月15日付け 記事
- 十勝毎日新聞 2026年2月18日付け 14面記事

国立公園等において、「保護と利用の好循環」を実現し、地域の活性化にも寄与。



地域の魅力を活かした自然体験活動を
促進する自然体験活動促進計画制度を創設

協議会が作成した計画が認定されると許可不要などの特例を受けられる
仕組みにより、地域主体の自然体験アクティビティを促進

- 市町村やガイド事業者等から成る協議会が自然体験活動促進計画を作成し、環境大臣(知事)の認定を受けた場合、関係する許可を不要とする等の特例により、手続きを簡素化します。
- これにより、地域関係者が一体となって行う、魅力的な自然体験アクティビティの開発・提供、ルール化などが進められ、長期滞在につながる国立公園の楽しみ方の充実が図られます。



魅力的な滞在環境を整備する
利用拠点整備改善計画制度を創設

協議会が作成した計画が認定されると認可手続などの特例を受けられる
仕組みにより、地域主体の利用拠点の改善を促進

- 市町村や旅館事業者等から成る協議会が利用拠点整備改善計画を作成し、環境大臣(知事)の認定を受けた場合、関係する認可を受けたこととする等の特例により、手続きを簡素化します。
- これにより、地域関係者が一体となって行う、廃屋撤去や拠点の機能の充実、景観デザインの統一など、自然と調和した街並みづくりが促進され、魅力的な滞在環境の整備が進みます。

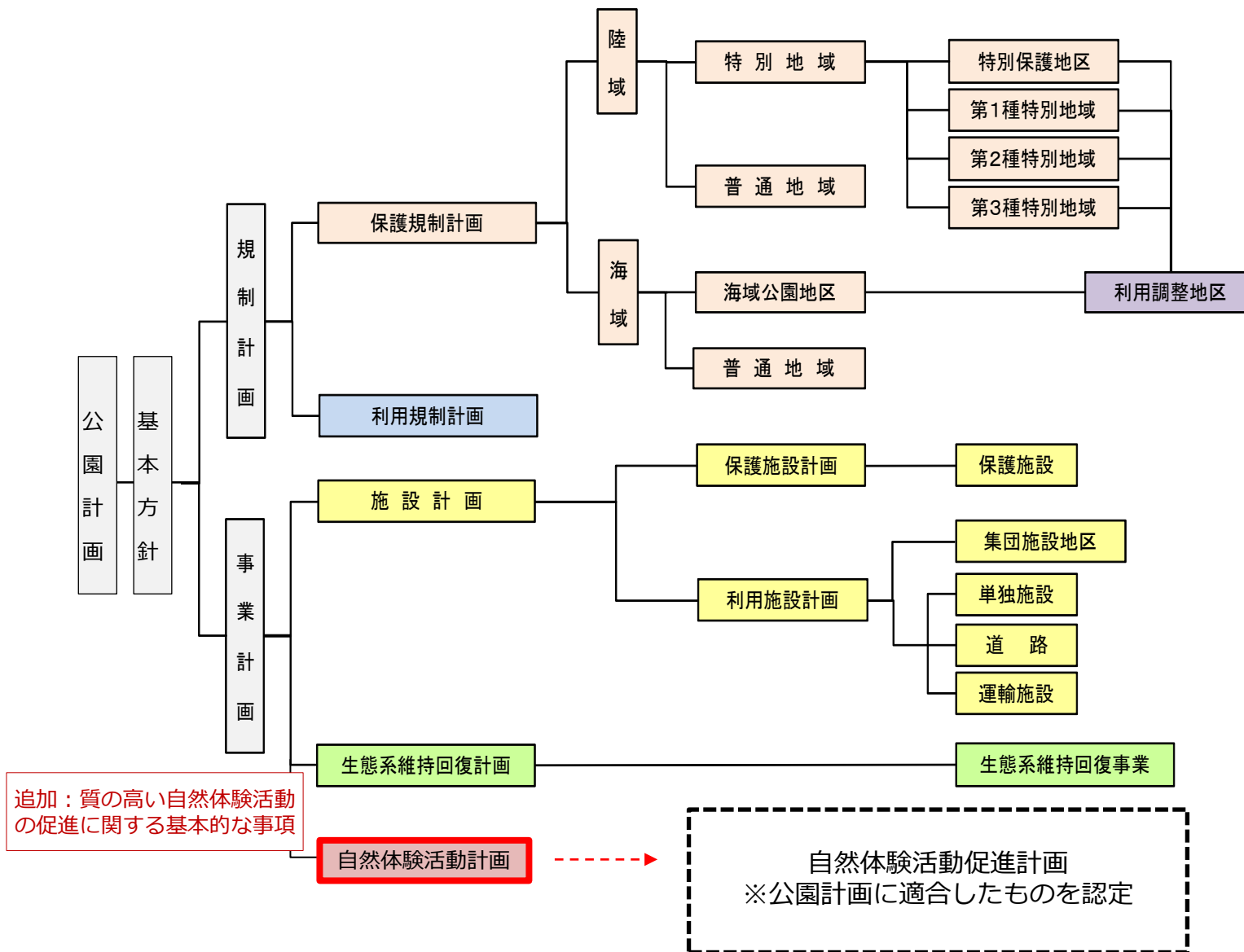


公園の保護と適正利用のために
餌付けへの規制や違反行為への罰則を強化

クマの餌付けへの規制や違法伐採などの違反行為への罰則強化により
国立公園等の保護と適正な利用を確保

- 野生動物への餌付けなどの行為に対する規制や、国立公園等における違法伐採などの禁止行為の違反に対する罰則の引上げを行います。
- これにより、野生動物による人的・物的被害の発生の防止や、禁止行為への厳しい対処が可能となり、多くの方々を楽しめる豊かな自然環境の確保が一層図られます。

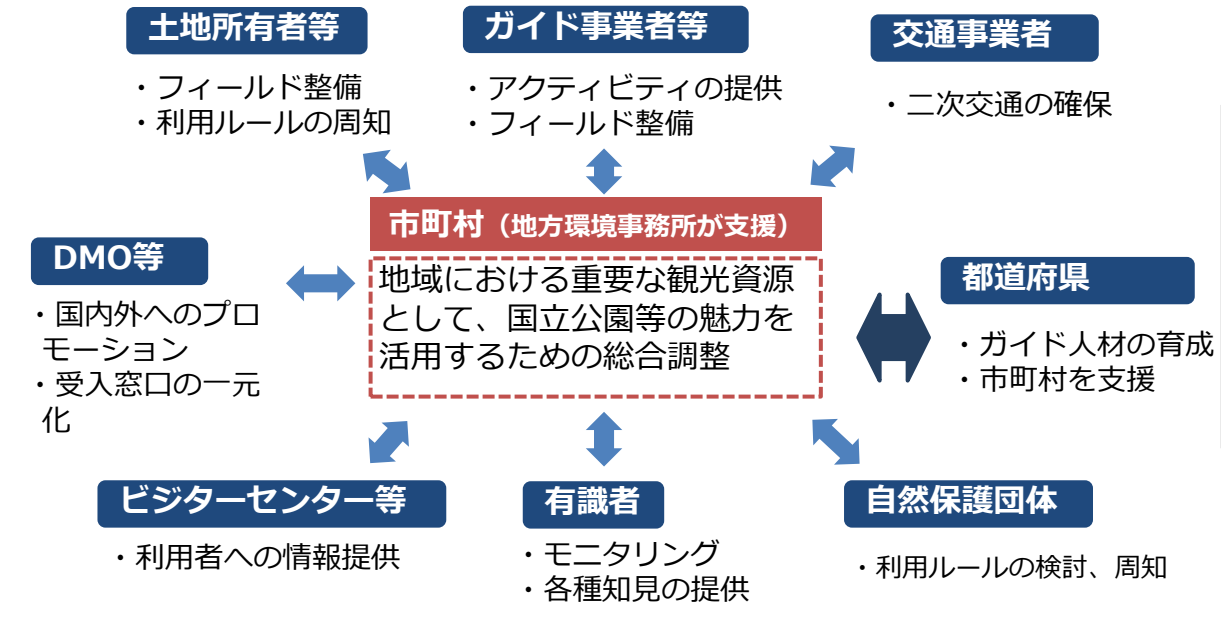
策定プロセス：公園計画体系図



自然体験活動促進制度がめざすもの

公園計画（自然体験活動計画）＝共通の方針

協議会の構成員と役割分担のイメージ



**共通の方針に基づく
合意形成・役割分担
による地域の
主体的な取組を促進**

※国際観光旅客税財源等も活用し、
環境省も地域の取組を積極的に支援

自然体験活動促進計画の申請

市町村、各事業の実施者

環境大臣

(国定公園は都道府県知事)

認定

計画の実施に関する許可を不要とする等の特例により、手続を簡素化

旅行者の多様なニーズに
こたえ、長期滞在につながる
楽しみ方を提供

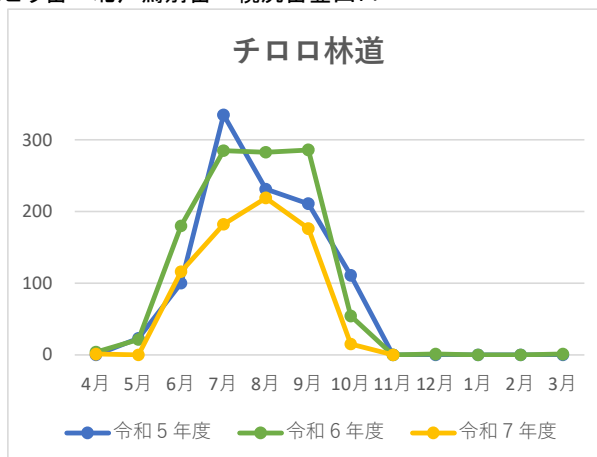
林野庁 北海道森林管理局
日高北部森林管理署

日高北部森林管理署管内の入林者名簿記載者数

(令和8年1月31日現在)

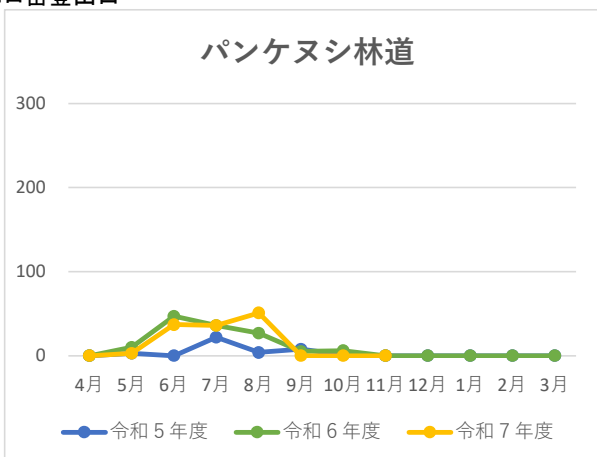
林道・月別入林者名簿記載者数(チロロ林道終点) ヌカピラ岳～北戸蔦別岳～幌尻岳登山口

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	0	4	1
5月	23	21	0
6月	100	180	116
7月	335	285	182
8月	231	283	219
9月	211	286	176
10月	111	54	15
11月	0	0	0
12月	0	1	未回収
1月	0	0	未回収
2月	0	0	
3月	0	1	
合計	1,011	1,115	709



林道・月別入林者名簿記載者数(パンケヌシ林道) チロロ岳登山口

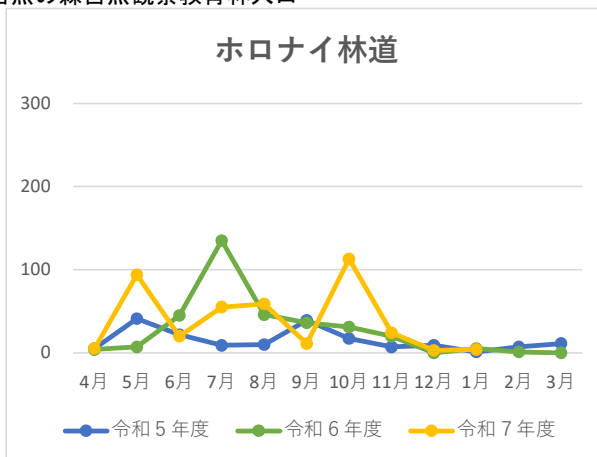
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	0	0	0
5月	3	10	3
6月	0	47	37
7月	22	36	36
8月	4	27	51
9月	8	5	0
10月	1	6	0
11月	0	0	0
12月	0	0	未回収
1月	0	0	未回収
2月	0	0	
3月	0	0	
合計	38	131	127



(パンケヌシ林道については、令和5年度は通行止め)

林道・月別入林者名簿記載者数(ホロナイ林道) 日高自然の森自然観察教育林入口

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	5	4	5
5月	41	7	94
6月	22	45	20
7月	9	135	55
8月	10	46	59
9月	39	36	11
10月	17	31	113
11月	7	20	24
12月	9	0	3
1月	1	5	4
2月	7	1	
3月	11	0	
合計	150	330	388



十勝西部森林管理署管内の山岳及びアクセス道の状況

R8.2.28現在

市町村名	山岳名	関連山岳	林道	林道状況	林道ゲート	R6入林者数	R7(4~11月)	備考
清水町	剣山 (1,205m)		-	-	-	1,589	1,429	
	ペケレベツ岳 (1,531m)		-	-	-	208	13	
	芽室岳 (1,753m)		オマベツ林道	積雪あり 車両通行不可	開放中	50	94	
	久山岳 (1,411m)		-	-	-	-	-	
芽室町	伏美岳 (1,792m)	ピパイロ岳 北戸蔦別岳	トムラウシ沢林道	林道決壊のため起点で 車両通行不可 (徒歩可)	閉鎖中	-	-	起点より1.5km地点 工事中（総延長の 20%復旧）
帯広市	十勝幌尻岳 (1,846m)		オピリネツプ林道	積雪あり 車両通行不可	開放中	310	380	
中札内村	コイカクシャツナイ岳 (1,721m)	ヤオロマップ岳 1 8 3 9 峰	-	-	-	46	93	入林者数は、札内 川ヒュッテに設置 した入林届の記載 を集計したもの
	カムイクワカウシ山 (1,979m)		-	-	-			

注) 入林者数は入林名簿に記載のあったものの集計値であり、正確な数値ではありません。

注) 各欄の入林者数は各時点での総数です。

事務局注記 登山道部会での指摘を踏まえ、中札内村の行について備考欄を追記された。

(22) オーバーツーリズムの未然防止・抑制 をはじめとする観光地の受入環境整備の促進

地元の環境を
整備したい観光誘客を
推進したい地元の魅力を
活用したい

事業概要

一部の地域・時間帯における過度な混雑やマナー違反行為などの観光課題の未然防止・抑制に向けて、地方公共団体・DMO・民事業者等の方々が取り組む、実情に応じた面的な受入環境整備を包括的に支援する事業です。

事業内容

○補助事業：

地方公共団体、DMOが中心となり、各地域が現在直面している課題・今後抱える課題に地域一体で行う、ハード整備の他、調査・実証に係る取組を含む、様々な面的な取組を支援。

特に、**複数年にわたる取組も支援し、検討段階から観光庁・運輸局が伴走支援**を行い、より実効性のある対策の加速化を図る。

事業スキーム

- ・ **公募期間**：令和8年2月25日(水)～令和8年5月29日(金)12時必着/事前着手届出：令和8年4月17日(金)12時必着(一次公募)
- ・ **類型概要**：
【**類型①地域一体型**】地方公共団体、登録DMOが中心となって行う類型
【**類型②一般型**】民間事業者等を含む一又は複数の者が行う類型
- ・ **申請主体**：【類型①】地方公共団体・登録DMO【類型②】地方公共団体・DMO・民間事業者等
- ・ **事業形態**：間接補助事業【類型①】補助率2/3（補助上限額：2億円）【類型②】1/2（補助上限額：5,000万円）】
- ・ **補助対象・請負先**：国→民間事業者(事務局)→地方公共団体、登録DMO、民間事業者等

ポイント

- ・ 最大3年間の事業計画を認定し、段階的な取組を支援する**“複数年度計画認定制度”**が導入されました
- ※計画が採択された翌年度以降、予算の範囲内で優先的に採択されるが、事業の採択を確約するものではありません
- ・ 申請開始～交付決定間における事業着手を可能とする**“事前着手届出制度”**が導入されました
- ※本届出の受理及び令和8年度政府当初予算が成立した日以降、事業着手が可能ですが、事業の採択を確約するものではありません

- 審査加点対象**：
- ・ 申請主体を中心とした地域住民を含む地域の関係者により構成される協議会の設置・実施
 - ・ 広域連携DMOが策定する広域連携観光戦略に基づき作成された実施計画に位置づけられた取組
 - ・ 申請者が、日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)に基づくロゴマークを取得している

※外部有識者・地方運輸局観光部等を構成員とする選定委員会が採択審査を行います。

事業イメージ



実施項目	令和6年度				令和7年度									令和8年度									令和8年度以降				
	8	...	2	3	4	5	6	7	8	...	12	...	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
●会議開催																											
協議会総会	8/27				書面				8/5				書面														年1回程度開催（第1四半期頃）
幹事会			2/19				6/23				12/22		3/4														年3~4回程度開催
登山道部会							6/23				12/22		3/4														適宜開催
その他部会				3/24																							必要に応じて設置、開催
●議題																											
ビジョン	令和7年8月5日策定													所定の手続きを経て、公園計画の基本方針に反映させる。													
管理運営方針														幹事会において、管理運営方針（案）を作成し、協議会で承認いただく（R8総会めど）。 所定の手続きを経て、公園計画の基本方針に反映させる。													
行動計画・地域ルール														幹事会において、必要に応じて行動計画（案）や地域ルール（案）を作成し、協議会で承認いただく。 所定の手続きを経て、国立公園管理運営計画に反映させる。													
夏山登山の心得 登山道利用体験グレード														必要に応じて年1回程度見直し予定													
自然体験活動計画														環境省が作成する自然体験活動計画（案）について、幹事会で報告する。 所定の手続きを経て、公園計画に反映させる。													
登山道部会	準備会合において、部会規約及び普及啓発資料の作成を行った。								総会で決定された普及啓発事項について、各構成員から周知。				夏山シーズンの状況について各構成員が把握した情報を共有。 部会を開催し、対応が必要な事項について協議。														
その他部会														必要に応じて、部会を設置し、個別課題について議論。													

（用語の定義）

ビジョン	国立公園の風景型式及び公園の利用の現況並びにそれらの特性を踏まえ、公園の風致景観を保護するとともに、その特性に対応した適正な利用が行われるよう、中長期的な視点に立ち、公園の望ましい姿（公園の保護すべき資源、利用の方向性等）、公園が提供するべきサービス（役割、機能）、公園の価値や保全・利用の目標をわかりやすく示したものである。
管理運営方針	ビジョンの実現に向け公園を管理運営していくに当たっての方向性を示したものであり、「保護に関する事項」と「利用に関する事項」に分けて記載する。 「保護に関する事項」として、当該公園の主要な保護対象及びそれらの保護管理の方針、特別地域（特別保護地区並びに第1種、第2種及び第3種特別地域）、海域公園地区及び利用調整地区等の指定方針等について記載する。 また、「利用に関する事項」として、主たる利用形態、公園区域内外にわたる利用動線の現況と今後の方針、主要な利用拠点又は利用施設の配置及び整備の方針、特定の地域における利用規制に関する方針等を記載する。
行動計画	ビジョン、管理運営方針等に基づき、自然環境の保全、利用施設の整備及び取組内容及び役割分担について整理したもの。
地域ルール	国立公園の全部又は一部の地域において、自然環境や利用状況を踏まえて定める地域特有の自然環境保全及び適正利用の推進のための自主的なルールや遵守事項。
自然体験活動計画	公園の風致景観及び自然環境、利用状況等の公園ごとの特性を踏まえ、質の高い自然体験活動の促進に関して、当該公園において自然体験活動を促進する上で踏まえるべき自然資源の特性、当該公園における質の高い自然体験活動の促進に関する基本的な方針等を定めるもの。

再生可能エネルギーとの調和（太陽光）

「国立・国定公園内における大規模太陽光発電施設設置のあり方に関する基本的考え方」（平成27年2月 環境省自然環境局）（<https://www.env.go.jp/press/100408.html>）

→平成27年5月19日に自然公園法施行規則を改正し、国立・国定公園の特別地域内における太陽光発電施設の新築、改築及び増築に係る許可基準を新たに追加するとともに、国立公園普通地域内における届出を要する工作物の基準を追加し、同年6月1日に施行

「国立・国定公園内における太陽光発電施設の審査に関する技術的ガイドライン」（令和4年3月30日 環境省自然環境局国立公園課）（<https://www.env.go.jp/press/110878.html>）

→太陽光発電施設の設置に関する許可基準等の運用の明確化
→審査時の具体的な考え方やその詳細な解釈の仕方について整理

自然公園に限らないものとして「太陽光発電の環境配慮ガイドライン」（令和2年3月 環境省大臣官房環境影響評価課）（<https://www.env.go.jp/press/107899.html>）

→本ガイドラインの一項目「動物・植物・生態系」についての補遺（付属資料）である

「太陽光発電における自然環境配慮の手引き（案）」に関する意見募集（パブリックコメント）中
（令和8年2月20日（金）～3月5日（木）まで）

（https://www.env.go.jp/press/press_02976.html）

北海道知事が太陽光発電事業者に対するメッセージを公表（令和7年11月21日）

→「北海道発 共生3原則」と「地域と共生する6つの要件」

大規模太陽光発電事業に関する関係閣僚会議（令和7年12月23日開催）において、「大規模太陽光発電事業（メガソーラー）に関する対策パッケージ」が決定

我が国において、国富流出の抑制やエネルギー安全保障の観点から、再エネを始めとする国産エネルギーの確保が極めて重要。DX・GXの進展によって電力需要の増加が見込まれる中で、産業の競争力強化の観点から、再エネや原子力などを最大限活用していくことが重要。

太陽光発電は、導入が急速に拡大した一方、様々な懸念が発生。地域との共生が図られた望ましい事業は促進する一方で、不適切な事業に対しては厳格に対応する必要がある。関係省庁連携の下、速やかに施策の実行を進める。

1. 不適切事案に対する法的規制の強化等

①自然環境の保護

- ◆ 環境影響評価法・電気事業法：環境影響評価の対象の見直し及び実効性強化【環境省、経済産業省】
- ◆ 種の保存法：生息地等保護区設定の推進、希少種保全に影響を与え得る開発行為について事業者等に対応を求める際の実効性を担保するための措置等を検討【環境省】
- ◆ 文化財保護法：自治体から事業者丁寧に相談対応を行えるよう、助言を行う際の留意事項を整理し、自治体に周知【文部科学省】
- ◆ 自然公園法：湿原環境等の保全強化を図るため、国立公園としての資質を有する近隣地域について釧路湿原国立公園の区域拡張【環境省】

②安全性の確保

- ◆ 森林法：許可条件違反に対する罰則、命令に従わない者の公表等、林地開発許可制度の規律を強化【農林水産省】
- ◆ 電気事業法：太陽光発電設備の設計不備による事故を防止するため、第三者機関が構造に関する技術基準への適合性を確認する仕組みを創設【経済産業省】
- ◆ 太陽光発電システム等のサイバーセキュリティ強化のため、送配電網に接続する機器の「JC-STAR」ラベリング取得の要件化【経済産業省】

③景観の保護

- ◆ 景観法：自治体における景観法活用促進のための景観法運用指針の改正及び景観法活用マニュアルの作成、公表【国土交通省、農林水産省、環境省】

※ その他、土地利用規制等に係る区域の適切な設定、開発着手済みの事業に対する関係法令の適切な運用、FIT/FIP認定事業に対する交付金一時停止等の厳格な対応、太陽光パネルの適切な廃棄・リサイクルの確保等を実施。【農林水産省、文部科学省、国土交通省、環境省、経済産業省 等】

2. 地域の実践と連携強化

- ◆ 地方三団体も交えた新たな連携枠組みとして、「再エネ地域共生連絡会議」を設置【経済産業省、環境省、総務省】
- ◆ 景観法：自治体における景観法活用促進のための景観法運用指針の改正及び景観法活用マニュアルの作成、公表【国土交通省、農林水産省、環境省】【再掲】
- ◆ 文化財保護法：自治体から事業者丁寧に相談対応を行えるよう、助言を行う際の留意事項を整理し、自治体に周知【文部科学省】【再掲】
- ◆ 地方公共団体の環境影響評価条例との連携促進【環境省】【再掲】
- ◆ 「関係法令違反通報システム」による通報や「再エネGメン」における調査について、非FIT/非FIP事業も対象に追加【経済産業省】

3. 地域共生型への支援の重点化

- ◆ 再エネ賦課金を用いたFIT/FIP制度による支援に関し、2027年度以降の事業用太陽光（地上設置）について廃止を含めて検討【経済産業省】
- ◆ 次世代型太陽電池の開発・導入の強化【経済産業省、環境省、総務省】
- ◆ 屋根設置等の地域共生が図られた導入支援への重点化【経済産業省・環境省・国土交通省・農林水産省】
- ◆ 望ましい営農型太陽光の明確化・不適切な取組への厳格な対応【農林水産省】
- ◆ 国等における電力供給契約について、法令に違反する発電施設で発電された電力の調達を避けるよう、環境配慮契約法基本方針に規定【環境省】
- ◆ 長期安定的な事業継続及び地域との共生を確保する観点から、地域の信頼を得られる責任ある主体への事業集約の促進【経済産業省】

令和7年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会

第2回幹事会 議事要旨

■日時:令和7年12月22日(月)13:00~15:00

■場所:新ひだか町地域交流センターピュアプラザ 多目的室(Web 会議システム併用)

■議事概要

1.開会(司会:北海道地方環境事務所国立公園課長 尼子)

2.議事

(1)報告事項

1)北海道地方環境事務所からの報告事項

・報告資料1について、事務局より説明。

<質疑等> ※→:事務局 ⇒資料提供者

○「インタープリテーション」とあるが、あえてカタカナ語で表記する必要があるのか。説明や配慮が必要ではないか。日本語で表記すべきではないか。

→「インタープリテーション」は、現状日本語に直訳できる言葉がない。近い概念としては「自然解説」だが、ただ自然を解説するだけではない。歴史や文化なども対象とする上、その背後にある意味を明らかにし、個人の経験と照らした発見を促し、行動変容につなげることも含む概念である。

→「インタープリテーション全体計画」とは何かの補足が必要という指摘と受け止めた。地域の魅力や価値を分かりやすい言葉で伝えるコミュニケーションツール・対話の手段として使いたい。なお名称は、地域の人が親しみやすいものにしたいと考えている。

2)各構成員からの報告事項について

(ア)日高北部森林管理署管内の入林者名簿記載者数(日高北部森林管理署)

・報告資料2について、日高北部森林管理署より説明。

⇒令和7年11月30日現在の日高北部森林管理署管内登山口の入林者名簿記載者数の速報値である。来年度はじめ頃に、最終確定版の情報を提供する予定。

(イ)ロングトレイル事業進捗報告(北海道運輸局)

・北海道運輸局より説明。

○説明のあった広域連携全般をテーマとした会合と、日高山脈襟裳十勝国立公園協議会との関係性について、考えを伺いたい。

⇒将来的に日高山脈襟裳十勝国立公園協議会の部会に位置付けることも考えられるが、現時点では別の会合として活動を開始する。今後の連携方法は、会合の状況を見ながら考えていきたい。

○日高トレイルデイズの実施状況についてはどうか。

⇒昨年度は国の補助事業で実施し、今年度は地域交付金も活用した。雨で来場者は少なかったが、自然環境保全に資する寄付金を得られた。

○過去にロングトレイル・フットパス事業があったと記憶しているが、現状は。

⇒北海道では長距離自然歩道の計画はあるが、整備が進まず未実施のものが多
い。道東の北根室ランチウェイは閉鎖している。昨年は、新たに北海道東トレイルが開
通し、数人が全線踏破している。

○ロングトレイルは部分的に歩いても楽しめるか。景観の魅力はどうか。

⇒区間ごとに様々なレベルで楽しめる。長い道の一部を歩くことも魅力的で集客効
果がある。景観は北海道らしさがあり、特に道外の人に好評だった。なお、海外では
「ハイキング＝長距離を歩く」という認識が強く、継続性のあるルートが重要である。

○ロングトレイルは十勝側での調査・展開の予定はあるか。

⇒次年度に広尾町～清水町間を調査予定である。今年度は机上(地図上)での検討
を進めている。

○日高山脈のブランド化・収益化についての考えを聞きたい。

⇒収益化は地域外から来る者にも環境保全に貢献してもらうために必要なことと考
える。観光収益を環境保全に還元する仕組みは世界的にも重要である。

○ロングトレイルの整備による環境負荷が懸念される。

⇒基本は既存の道を利用する。新規整備は現実的ではない。必要に応じて地域と協
議し、草刈りなどの最小限の整備を検討する。環境保全への貢献が肝であり、整備す
る場合には環境負荷の状況をモニタリングすることが重要であると考えている。

○林道は一般の通行を前提とした道ではないため、調査前に関係する森林管理署と
事前調整を行う事を要請する。

⇒対応する。

○インタープリテーション計画との関係性はどうか。

⇒インタープリテーション計画と連動し、地域の資源や魅力、ストーリー(物語)を伝え
ることが重要である。ロングトレイルは地域の物語に触れる旅として親和性が高い。

3.その他

○日高山脈襟裳十勝国立公園協議会の構成員に、アイヌ関係団体が含まれていな
いが、今後の国立公園運営や自然環境保全、文化・歴史の理解のためにも、地域の
アイヌ関係団体を加えて、意見を聞けるよう検討してほしい。

具体的な団体は、北海道アイヌ協会に相談し、幹事会構成員となつていただくのに適

切な団体を判断してもらうのが良いと考える。

→アイヌ関係団体を構成員に加えることについて、他の構成員から御意見ないか。

<異議なし。>

→それでは、事務局から北海道アイヌ協会に相談し、適切な構成員について意見を伺い、次回から参画いただけるよう調整する。

○「夏山登山の5つの心得」について、WEB検索しても国立公園ページに直接アクセスできないので、改善してほしい。

→国立公園のページは全面改修中となっている。本省による全国的な改修が終わり次第、日高山脈襟裳十勝国立公園のページの改善を図りたい。

○先ほどの指摘と関連するが、日高山脈襟裳十勝国立公園のホームページが2つある。関係資料や会議資料が見つげにくいので、改善してほしい。また、「日高山脈襟裳十勝国立公園ビジョン」が掲載されておらず、協議会の構成員や地域の人が見られないのは不適切であると考え。ビジョンを踏まえた管理運営方針作成スケジュールや、登山道整備、ロングトレイルなどの取組との連動について考えを伺いたい。

→ホームページの統合や資料掲載が遅れており申し訳ない。先ほどの改修作業後に早急に対応する。ビジョンの掲載は作業中で、近々掲載できる予定。管理運営方針については、各取組の状況も考慮しつつ、現在事務局で作業中であり、次回御提示できるように対応する。

○レンジャー(自然保護官)の増員について、以前から要望しているが、現状はどうなっているのか。

→日本の国立公園は地域性公園であり、環境省だけで管理するものではなく、協働型管理のため日高山脈襟裳十勝国立公園協議会がある。レンジャーは国家公務員であり、この増員は環境省だけで決められるものではなく、要望はしているが、すぐに配属を増やすことが難しいことはご理解いただきたい。

○市町村等が設置した看板について、環境省が把握している範囲で状況を教えてほしい。

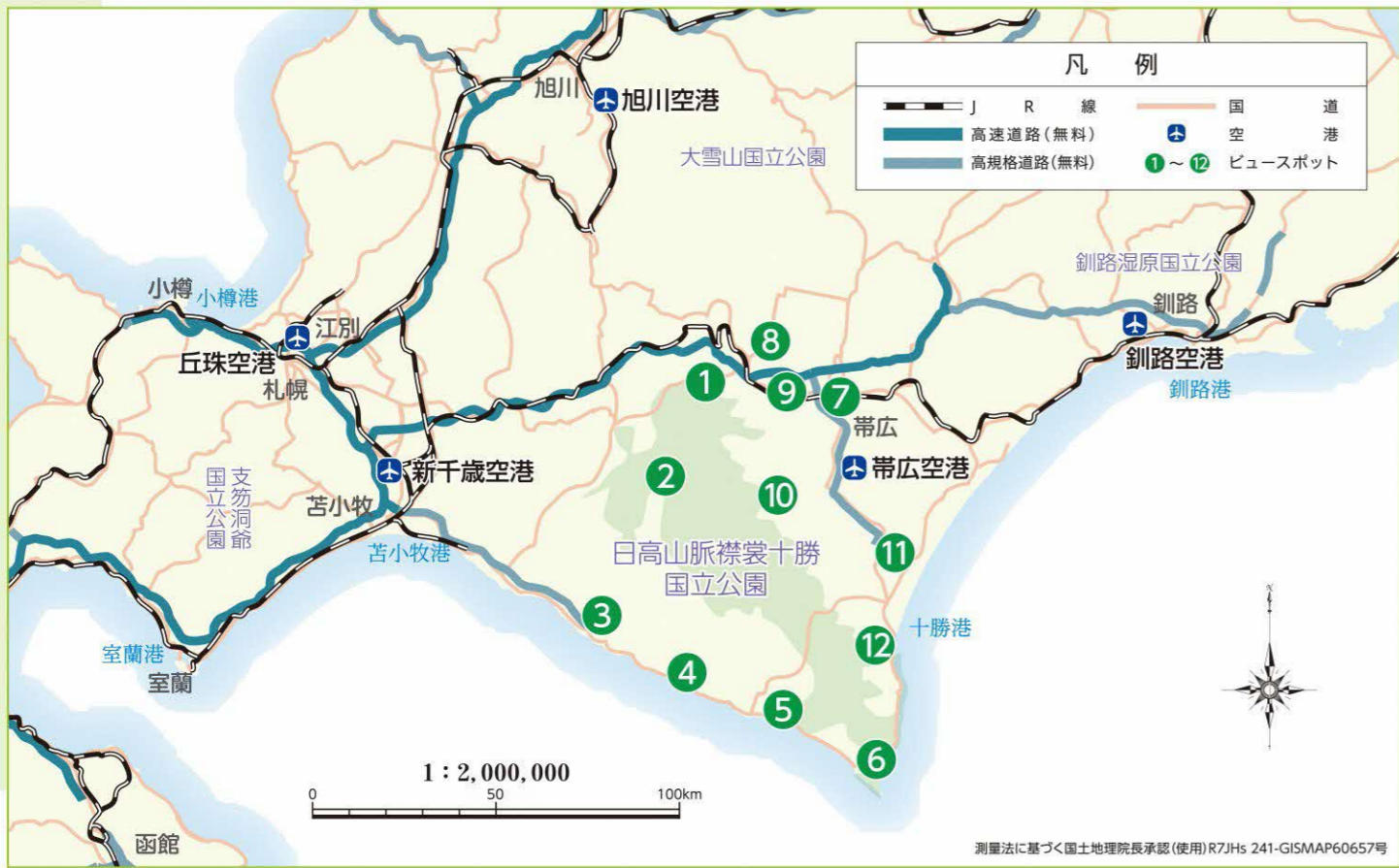
→国立公園内に新たに設置されるものは、許認可手続きを通して把握するが、国立公園外のもの、基本的に把握していない。帯広市が昨夏、国立公園外の十勝幌尻岳登山口に看板を設置したことは承知している。各自治体から情報提供があれば協議会で共有したい。

○環境省で年に1回調査を実施し、看板の設置状況を台帳化して、幹事会で情報共有するのが良いのではないか。

→そのような取り組みも有効だと思うが、網羅的な情報収集には困難が伴う。巡視を通して把握に努めるが、年に1回協議会総会に向けて構成員から取組予定を提出いただいている。そうした情報を整理して共有していければと思うので、各構成員には、今後も情報提供に協力をお願いしたい。

○第3回幹事会は来年3月頃に開催予定である。時間・方法等の詳細が決まり次第、改めてご案内する。

4.閉会



日高山脈ビュースポット一覧

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------|-----------|------|-----------|-----------|-----------|------|------|--|-----------|-----------|--|---|-----|-------|------|-----------|-----------|-----------|------|------|--|-----------|-----------|--|--|-----|-------|------|-----------|-----------|-----------|------|------|--|-----------|--------|--|---|-----|-------|------|-----------|-----------|-----------|------|------|--|-----------|-----------|--|
| <p>1 日勝峠園地
住所：日高町字千栄</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約2時間30分</td><td>車で約2時間</td><td>車で約1時間10分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約2時間40分</td><td>車で約1時間30分</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約2時間30分 | 車で約2時間 | 車で約1時間10分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約2時間40分 | 車で約1時間30分 | | <p>2 幌尻岳視定点
住所：平取町字幌志 141 番地</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約2時間30分</td><td>車で約2時間</td><td>車で約1時間10分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約2時間40分</td><td>車で約2時間30分</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約2時間30分 | 車で約2時間 | 車で約1時間10分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約2時間40分 | 車で約2時間30分 | | <p>7 帯広市役所展望ホール
住所：帯広市西5条南7丁目1番地</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約3時間</td><td>車で約2時間20分</td><td>車で約2時間40分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約3時間</td><td>車で約40分</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約3時間 | 車で約2時間20分 | 車で約2時間40分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約3時間 | 車で約40分 | | <p>8 美蔓パノラマパーク
住所：清水町美蔓</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約2時間40分</td><td>車で約2時間</td><td>車で約2時間30分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約2時間30分</td><td>車で約1時間</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約2時間40分 | 車で約2時間 | 車で約2時間30分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約2時間30分 | 車で約1時間 | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約2時間30分 | 車で約2時間 | 車で約1時間10分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約2時間40分 | 車で約1時間30分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約2時間30分 | 車で約2時間 | 車で約1時間10分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約2時間40分 | 車で約2時間30分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間 | 車で約2時間20分 | 車で約2時間40分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間 | 車で約40分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約2時間40分 | 車で約2時間 | 車で約2時間30分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約2時間30分 | 車で約1時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>3 サラブレッド銀座駐車公園
住所：新冠町字高江</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約3時間30分</td><td>車で約2時間30分</td><td>車で約1時間</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約3時間40分</td><td>車で約2時間40分</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約3時間30分 | 車で約2時間30分 | 車で約1時間 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約3時間40分 | 車で約2時間40分 | | <p>4 道の駅みつし
住所：新ひだか町三石晃舞 161-2</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約2時間30分</td><td>車で約2時間</td><td>車で約1時間10分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約2時間40分</td><td>車で約2時間</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約2時間30分 | 車で約2時間 | 車で約1時間10分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約2時間40分 | 車で約2時間 | | <p>9 めむろ駅前プラザ(めむろーど) 3階
住所：芽室町本通り 1 丁目 19</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約3時間30分</td><td>車で約2時間20分</td><td>車で約2時間40分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約3時間40分</td><td>車で約40分</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約3時間30分 | 車で約2時間20分 | 車で約2時間40分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約3時間40分 | 車で約40分 | | <p>10 札内川園地・ピョウタンの滝
住所：中札内村南札内 713</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約3時間30分</td><td>車で約2時間40分</td><td>車で約2時間30分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約3時間40分</td><td>車で約40分</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約3時間30分 | 車で約2時間40分 | 車で約2時間30分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約3時間40分 | 車で約40分 | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間30分 | 車で約2時間30分 | 車で約1時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間40分 | 車で約2時間40分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約2時間30分 | 車で約2時間 | 車で約1時間10分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約2時間40分 | 車で約2時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間30分 | 車で約2時間20分 | 車で約2時間40分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間40分 | 車で約40分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間30分 | 車で約2時間40分 | 車で約2時間30分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間40分 | 車で約40分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>5 エンルム岬展望台
住所：様似町会所町 36 番地</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約3時間30分</td><td>車で約2時間30分</td><td>車で約1時間</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約3時間40分</td><td>車で約2時間</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約3時間30分 | 車で約2時間30分 | 車で約1時間 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約3時間40分 | 車で約2時間 | | <p>6 百人浜展望台
住所：えりも町字野原</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約4時間</td><td>車で約3時間10分</td><td>車で約3時間10分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約4時間30分</td><td>車で約2時間</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約4時間 | 車で約3時間10分 | 車で約3時間10分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約4時間30分 | 車で約2時間 | | <p>11 もいわ山森林公園展望デッキ
住所：大樹町字静和 453 番地
もいわ山森林公園内</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約3時間30分</td><td>車で約3時間</td><td>車で約3時間30分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約3時間30分</td><td>車で約40分</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約3時間30分 | 車で約3時間 | 車で約3時間30分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約3時間30分 | 車で約40分 | | <p>12 大丸山森林公園日高山脈展望台
住所：広尾町字広尾 689</p> <p>●各地からのアクセス</p> <table border="1"> <tr><td>札幌駅</td><td>新千歳空港</td><td>苫小牧港</td></tr> <tr><td>車で約4時間20分</td><td>車で約3時間40分</td><td>車で約3時間40分</td></tr> <tr><td>旭川空港</td><td>帯広空港</td><td></td></tr> <tr><td>車で約4時間</td><td>車で約1時間10分</td><td></td></tr> </table> | 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | 車で約4時間20分 | 車で約3時間40分 | 車で約3時間40分 | 旭川空港 | 帯広空港 | | 車で約4時間 | 車で約1時間10分 | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間30分 | 車で約2時間30分 | 車で約1時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間40分 | 車で約2時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約4時間 | 車で約3時間10分 | 車で約3時間10分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約4時間30分 | 車で約2時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間30分 | 車で約3時間 | 車で約3時間30分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約3時間30分 | 車で約40分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 札幌駅 | 新千歳空港 | 苫小牧港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約4時間20分 | 車で約3時間40分 | 車で約3時間40分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 旭川空港 | 帯広空港 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車で約4時間 | 車で約1時間10分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

お問合せ先

- | | | |
|--|---|--|
| <p>十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係
〒080-8588
帯広市東3条南3丁目1番地
TEL 0155-26-9028</p> | <p>日高振興局保健環境部環境生活課自然環境係
〒057-8558
浦河町栄丘東通 56 号
TEL 0146-22-9254</p> | <p>十勝・日高山脈観光連携協議会
〒082-8651
芽室町東2条2丁目14番地
TEL 0155-62-9736
(芽室町魅力創造課魅力発信係)</p> |
|--|---|--|

ひだかさんみやく

日高山脈 マップ



日高山脈

日高山脈は南北約 140km に及び脊梁山脈です。最高峰である幌尻岳をはじめ、1,900m を超える山々が連なり、氷河の痕跡「カール」、稜線の鋭く切れ込んだ「ナイフリッジ」などの地形が特徴です。日高山脈とその周辺は、国内でも屈指の原生的自然環境を擁します。また、高緯度に位置するため、本州の 3,000m 級の山に匹敵する高山環境が見られ、多種多様な高山植物が生育しています。この雄大な日高山脈と、それを核とする原生林生態系は国内でも傑出した自然風景を誇り、令和 6 年 6 月 25 日には国内 35 番目の国立公園「日高山脈襟裳十勝国立公園」に指定されました。本パンフレットでは、そんな魅力あふれる日高山脈を眺められる場所をまとめました。

日高山脈のビュースポット

<p>1 日高町 展望地からは、雄大な十勝平野を一望できるほか、天候によっては雲海が広がる幻想的な風景を見ることができます。</p> <p>日勝峠園地</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>2 平取町 アイヌ語で「ボロ（大きい）シリ（山）」を意味し、日高山脈の最高峰である幌尻岳の雄大な姿を眺めることができます。</p> <p>幌尻岳視定点</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>7 帯広市 帯広市役所の 11 階には、窓から景色を一望できる展望ホールがあり、日高山脈を見ることができます。</p> <p>帯広市役所展望ホール</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>8 清水町 十勝平野の農村風景のバックに雄大な日高山脈が広がる展望台。四季ごとに表情を変え、訪れるたびに感動を与えてくれます。</p> <p>美蔓パノラマパーク</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>
<p>3 新冠町 競走馬生産牧場が連なる「サラブレッド銀座」の起点であり、日高山脈を背景とした牧場風景が一望できます。</p> <p>サラブレッド銀座駐車公園</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>4 新ひだか町 三石浜公園内に設けられた道の駅みつしの裏にある丘からは雄大な太平洋や日高山脈を背景にした牧場風景が一望できます。</p> <p>道の駅みつし</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>9 芽室町 1 階には商業施設も併設している「めむろ駅前プラザ(めむろーど)」の 3 階公共スペースには大きな窓があり、日高山脈を一望できます。</p> <p>めむろ駅前プラザ(めむろーど)3階</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>10 中札内村 日高山脈の麓にある落差 10m を誇るピョウタンの滝や札内川園地では、雄大な自然が感じられ、癒されること間違いなしです。</p> <p>札内川園地・ピョウタンの滝</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>
<p>5 様似町 様似町の町並みとともに、遠くには楽古岳が、またピンネシリや数多くの高山性植物が生ずるアポイ岳が一望できます。</p> <p>エンルム岬展望台</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>6 えりも町 国有林緑化事業観察塔として建てられた展望台からは、周囲 360 度を見渡すことができ、百人浜、悲恋沼、日高山脈を一望できます。</p> <p>百人浜展望台</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>11 大樹町 雄大な十勝平野と日高山脈の四季折々の風景を一望できる展望デッキ。春には桜、初夏には花菖蒲や睡蓮の花なども観賞できます。</p> <p>もいわ山森林公園展望デッキ</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>	<p>12 広尾町 眼下に牧場や森林が広がる中、広尾町を代表する楽古岳など、日高山脈の立派な線形を間近に一望できる眺望は圧巻です。</p> <p>大丸山森林公園日高山脈展望台</p> <p>ルート案内はこちら QRコードから▼</p>



日高山脈マップ標高ランキング

【掲載している山名の標高順】

1位	幌尻岳	2052m
2位	カムイエクウチカウシ山	1979m
3位	1967峰	1967m
4位	戸髭別岳	1959m
5位	ピパイロ岳	1916m
6位	北戸髭別岳	1912m
7位	エサオマントツタベツ岳	1902m
8位	札内岳	1895m
9位	チロロ岳	1880m
10位	十勝幌尻岳	1846m



ひだかさんみやく

日高山脈 マップ

※このマップは、日高山脈の全体像がわかりやすくなるよう代表的な山名を表示しています。すべての山名を載せているわけではありません。



- ### 凡例
- 日高山脈襟裳十勝国立公園界
 - 1 ~ 12 ビュースポット
 - J R 線
 - 有料区間 無料区間 高速道路
 - 国道
 - 道